本草薬膳学院講座・料金一覧表（2024 年 1 月現在）

初期費用表

		時　間	入学金(円) (税込)	授業(円) (税込)	その他費用(円) (税込)	合　計(円) (税込)
基礎中医薬膳師コース	通学	各コース 1 回 5 時間 ・土日コース (東京・大阪・札幌) 1 年。毎月 2 回 毎年春・秋(東京のみ)入学 ・平日コース (東京・大阪・福岡・広島) 1 年。毎月 2 回 毎年春・秋(東京のみ)入学 ・土曜コース(名古屋) 1 年。毎月 2 回 毎年春入学 ・金土コース(仙台) 1 年。毎月 2 回 毎年春入学	90,000	362,000 (理論と実習 各 21 回)	プリント代他　6,000 全 21 回実習材料費 42,000 (材料費:2,000/回 上記金額に中薬代も含む) 料金別途 資格認定費用 教科書代	一括払い 500,000 分割払い 510,000 (前期:300,000 後期:210,000)
	通信教育	在宅学習 (学習有効期間: 2 年間) 随時入学可	60,000	82,000	プリント代他　7,400 資格認定費用　20,000 料金別途 教科書代	一括払い 169,400
	(eラーニングオンライン)	在宅学習 (学習有効期間: 2 年間) 随時入学可	60,000	82,000	校内報他　2,000 資格認定費用 (中医薬膳師)　20,000 料金別途 薬膳素材専門士認定費用 教科書代(任意)	一括払い 164,000
応用コース	研究科(通学・オンライン)	①臨床基礎研究科 ②臨床内科研究科 ③臨床(婦人・小児・外科)研究科 ④方剤研究科 ⑤国際中医師研究科 ⑥経典研究科(年度により) ⑦薬膳処方作成研究科 (初・中・上級) 等 各　毎月1回	免除対象: 本校卒業生 (通学・通信・オンライン(e ラーニング)コース含む) 外部 60,000	お問合せください。	プリント代 教科書代	お問合せください。 (コース、内容による金額の変動あり)
	研究科(通信)	①臨床基礎研究科 ②臨床内科研究科 ③臨床婦人科研究科 ④臨床小児科研究科 ⑤臨床外科研究科 ⑥方剤研究科 ⑦国際中医師研究科		お問合せください。		

国際薬膳師(士)	[受験対策講座] 本試験の約1ヶ月前の3日間	お問合せください。	プリント代別途	お問合せください。
国際中医師	[受験対策講座] 本試験の約1ヶ月前の 1 日間	中医薬膳師資格取得者、同時に研究科等で総合学習時間 2,600 時間以上の方が対象となります。 詳細に関してはお問い合わせください。		

料金別途 1　資格認定費用

中医薬膳師(通学・通信・オンライン(e ラーニング)取得可)	20,000 円
家庭薬膳アドバイザー(通学生のみ取得可)	20,000 円
薬膳素材専門士(オンライン(e ラーニング)のみ取得可)	20,000 円
国際薬膳師(士)(中国薬膳研究会認定)	お問い合せください
国際薬膳調理師(中国薬膳研究会認定)	お問い合せください
国際中医師(世界中医薬学会連合会認定)	お問い合せください

❇　事情により変更する事があるため、予めご了承ください。

❇　各コースの費用は税込金額です。尚、納付いただいた費用は返金出来ません。ご了承ください。

料金別途 2　教科書代（計 20,780 円・税込）

中国の中医薬大学・中国薬膳研究会教材により編集した学院のオリジナル教科書及び参考資料(通学・通信教育コース共通)

①『実用中医学』(中医基礎学・中医診断学)　源草社(¥3,080)
②『実用中医薬膳学』(営養薬膳学・内科学・弁証施膳)　東洋学術出版社(¥4,620)
③『薬膳の基本』(弁証施膳)　緑書房(¥3,080)
④『食薬方剤学』(食材学・中薬学・方剤学)　本草薬膳学院オリジナル(¥2,800)
⑤『改訂新版　薬膳素材辞典』(健康に役立つ食薬の知識)　源草社(¥4,400)
⑥『問題集』(兼国際薬膳師資格認定試験対策資料)　本草薬膳学院オリジナル(¥2,800)

☆『一語でわかる中医用語辞典』(※任意)　源草社(¥3,960)

料金別途 3　スクーリング受講料

(通信教育コース・オンライン(e ラーニング)コースのみ)

3 日間：80,880 円（2023 年 6 月現在）※受講時にお支払いいただきます。

年間 3 回（夏期・秋期・冬期）東京校にて実施、いずれかを受講。

通信教育コース・オンライン(e ラーニング)コース修了には**受講必須**となります。

※スクーリングの**交通費・宿泊費は自費**



基礎コース:初心者の方、通学して基礎理論から勉強し、実習もしたい方へ

中医薬膳師(通学)コース

薬膳に関する基本的な知識を修得し日常生活に取り入れたい方、薬膳の専門家を目指したい方にあわせ、理論と実習(全21回)をともなう学習ができるコースです。約1年間で薬膳レシピを考える力が身に付けられます。

教育内容:

理　論	実　習(中医内科学・弁証施膳含む)		
①中医基礎理論	1.春の薬膳	9.貧血・血虚証の改善	17.心・脳血管病後遺症に
②中医診断学	2.梅雨の薬膳	10.冷え性対策	18.咳、喘息に
③中医営養薬膳学	3.夏の薬膳	11.慢性疲労の対策	19.胃炎・十二指腸潰瘍に
④中医内科学	4.秋の薬膳	12.更年期を上手に過ごす	20.慢性肝炎に
⑤食材学	5.冬の薬膳	13.糖尿病に	21.アトピー等の皮膚炎に
⑥中薬学	6.美肌のための薬膳	14.便秘の改善	※都合により内容を変更することがあります。
⑦方剤学	7.老化防止のための薬膳	15.気滞証の薬膳	
⑧弁証施膳	8.気虚証の薬膳	16.血瘀証の薬膳	

※授業を欠席される場合は、後日補講を受けることができます(予約制です。希望日に受講できないことがあります。)

日時:【東京校】定員30名(先着順。定員になり次第、締め切らせていただきます)

平日コース(第1・3火曜日:春開講)、(第2・4水曜日:秋開講)・・・・1年間、毎月2日間
土日コース(第2土・日曜日:春開講)、(第3土・日曜日:秋開講)・・・・1年間、毎月2日間
■理論講義:10:00～12:00　講義と調理実習:13:00～16:00(昼休み30分～1時間)

【大阪教室】定員12名(先着順。定員になり次第、締め切らせていただきます)

平日コース(第1・3水曜日)・・・・春(4月)開講、1年間、毎月2日間
土日コース(第1土・日曜日)・・・・春(4月)開講、1年間、毎月2日間
■理論講義:10:00～12:00　講義と調理実習:13:00～16:00

【福岡教室】定員10名(先着順。定員になり次第、締め切らせていただきます)

平日コース(第2木・金曜日)・・・・春(4月)開講、1年間、毎月2日間
■理論講義:木:11:00～13:00　金:10:00～12:00　講義と調理実習:木:14:00～17:00　金:13:00～16:00

【名古屋教室】定員15名(先着順。定員になり次第、締め切らせていただきます)

土曜コース(第1・3土曜日)・・・・春(4月)開講、1年間、毎月2日間
■理論講義:10:00～12:00　講義と調理実習:13:00～16:00

【広島教室】定員10名(先着順。定員になり次第、締め切らせていただきます)

平日コース(第3木・金曜日)・・・・春(4月)開講、1年間、毎月2日間
■理論講義:10:00～12:00　講義と調理実習:13:00～16:00

【仙台教室】定員10名(先着順。定員になり次第、締め切らせていただきます)

金土コース(第2金・土曜日)・・・・春(4月)開講、1年間、毎月2日間
■理論講義:10:00～12:00　講義と調理実習:13:00～16:00

【札幌教室】※2024年春新設　**定員未定**(決定し次第、ご案内させていただきます)

土日コース(第4土・日曜日)・・・・春(4月)開講、1年間、毎月2日間
■理論講義:10:00～12:00　講義と調理実習:13:00～16:00

注:祝祭日の日にちによって授業日を調整する事があります。調整した際は別途ご連絡します。

取得可能資格:中医薬膳師、家庭薬膳アドバイザー(任意)、
国際薬膳師(士)・国際薬膳調理師の資格認定試験の受験資格

☆中医薬膳師資格・家庭薬膳アドバイザー(各20,000円)資格認定費用は修了時に申込みの上、お振込いただきます。

通学コース費用:

入学金:	90,000円	(内30,000円は施設維持費)
授業料:	362,000円	
材料費:	42,000円	(21回の実習材料費(食材・中薬代)を含む)
プリント・本草つうしん代:	6,000円	

合計:500,000円(税込)

分割の場合は合計:510,000円(税込)　前期:300,000円、後期:210,000円)

☆教科書代:20,780円(税込)が上記金額に加算されます。



基礎コース:通信教育で基礎理論から勉強したい方へ

中医薬膳師(通信教育)コース

本草薬膳学院の通信教育コースでは教材を使用し、皆様がご都合の良い時間に学習出来ます。学院より配布された小テストを所定の回数提出し、提出された課題には講師が丁寧に添削をしてお返しします。これにより、学習の内容を理解し、レベルアップを図ります。

有効期間 2 年間のうち、**スクーリング**(年 3 回開催:各 3 日間)に1回参加する必要がありますが、それ以外、通学の必要はありません。

学習の進め方:

1. 教材による学習時間:1,000 時間 (目安:1日 2 時間、週 10 時間)

学習内容	教材	対応小テスト
①中医学基礎 ②中医診断学	『実用中医学』	中医基礎理論・中医診断学
③中医営養薬膳学	『薬膳の基本』『実用中医薬膳学』	中医営養薬膳学
④中医内科学	『薬膳の基本』『実用中医薬膳学』『実用中医学』	薬膳処方①②・中医内科学
⑤食材学 ⑥中薬学 ⑦方剤学	『食薬方剤学』 参考書:『改訂新版 薬膳素材辞典』	食材学・中薬学・方剤学
⑧弁証施膳	『薬膳の基本』『実用中医薬膳学』『実用中医学』	薬膳処方総合演習・卒業レポート

2. 小テスト:(30 時間、1回3時間)全 10 回。学習進度にあわせ、小テストを解いて学院に郵送し提出する。
3. スクーリング:**夏期・秋期・冬期** 各 3 日間(金～日曜日)。※2 年間のうち最低 1 回(通算 3 日)は出席してください**(必須)**

取得可能資格:中医薬膳師、
国際薬膳師(士)・国際薬膳調理師の資格認定試験の受験資格

通信教育コース費用: 合計:169,400 円(税込) ※納付いただいた費用は返金出来ません。予めご了承ください。

1. 費用に含まれるもの

①入学金 ②受講料 ③小テスト 10 回分 ④雑費(「本草つうしん」代・通信費など) ⑤「中医薬膳師」資格認定費用

2. 費用に含まれないもの(教科書は通学コースと共通)

① 教科書代 6 冊
(『実用中医学』・『食薬方剤学』・『実用中医薬膳学』・『薬膳の基本』・『改訂新版 薬膳素材辞典』・『問題集』)

② スクーリング費用 費用:80,880 円(税込) (2024 年 1 月現在)

※既にお持ちの教科書がある場合、再度購入する必要はありません。
※参考書として『一語でわかる中医用語辞典』もご利用ください。(任意)
※小テストを紛失した場合の再発行については、別途費用が発生します。
※通学コース授業に部分的に参加いただくこともできます。また希望者は直接個別指導も可能です。(要別途費用)

入学までの流れ

1. 同封の**入学願書**に必要事項を記入し、写真を貼付して学院まで郵送にて提出する。
2. 学院からメール(郵送)にて振込先口座と金額をお知らせいたしますので、費用をお振込みください。
3. 入金の確認がとれ次第、学院より入学通知と教科書・小テストを郵送にてご送付いたします。
4. お手元に教科書・小テストが届くのをお待ちください。

※お手数をおかけしますが、事前にご確認くださいますようお願いいたします。
携帯電話、スマートフォン、iPhone などの設定を【受信拒否設定】にされている方は学院からのメールが受けとれなくなってしまいますので、yakuzen@honzou.jp からのメールを受信できるようドメイン設定を解除していただくか、又は弊学院ドメイン honzou.jp を受信リストに加えていただきますようお願い申し上げます。



基礎コース：PC・モバイルで基礎理論から勉強したい方へ

中医薬膳師(オンライン(eラーニング))コース

本草薬膳学院のオンライン（e ラーニング）コースでは、e ラーニングシステムの LearnO（ラーノ）を使用し、ご都合のよい時間に学習出来ます。PC・タブレット等を使って、教材をスライド形式で読み進めて学習していきます（※）。学習の進行度に沿ってテストがあり、卒業レポートもオンライン上で提出していただきます。通信教育コース同様、本学院の講師が修了まで丁寧に学習をサポートいたします。

（※：教材は学習のポイントを教科書から抜粋したものであり、**動画授業形式・電子書籍とは異なります**）

有効期間 2 年間のうち、**スクーリング**（年3回開催：各3日間）に1回参加する必要がありますが、それ以外、通学の必要はありません。

学習の進め方：

1. 学院サイト内の「在校生の方へ」のページからログイン画面へ。**ID、パスワード**を入力してログイン。
2. 最初に「オンラインコースマニュアル」を読んでから、教材を学習する。（学習時間：1,000 時間。1 日 2 時間、週 10 時間）

各章のテストに合格すると次の章に進むことが出来ます。全章のテストに合格した後、卒業レポートを提出します。

科目	学習内容	
①中医学	中医学の特徴と各学説について	第 1 章～第5章
②中医診断学	診断方法と各弁証について	第 1 章～第4章
③中医予防学	予防と治療	第 1 章
④食薬学	総論・各論	総論・第 1 章～第12章
⑤中医薬膳学	概念・基本理論・処方・薬膳料理の基本	第 1 章～第4章
⑥方剤学	総論・各論	総論・第 1 章～第14章
⑦歴史学	中医学の歴史	第 1 章～第3章
⑧薬膳の基本	養生薬膳・改善薬膳・応用薬膳	第 1 章～第3章
⑨卒業レポート	各テーマの弁証施膳	全10テーマ

3. スクーリング：：**夏期・秋期・冬期**　各 3 日間（金～日曜日）。※2 年間のうち最低 1 回(通算 3 日)は出席してください**（必須）**

取得可能資格：中医薬膳師、薬膳素材専門士（任意　※5P「よくあるお問い合わせについて」参照）、国際薬膳師(士)・国際薬膳調理師の資格認定試験の受験資格

オンライン（e ラーニング）コース費用：合計：164,000 円（税込）

※納付いただいた費用は返金出来ません。予めご了承ください。

1，費用に含まれるもの

①入学金　②受講料　③雑費（「本草つうしん」代・通信費など）　④「中医薬膳師」資格認定費用

2. 費用に含まれないもの

① スクーリング費用　　費用：80,880 円（税込）（2024 年 1 月現在）
② 「薬膳素材専門士」資格認定費用（任意）
③ 教科書代(任意)
　教科書：『実用中医学』・『食薬方剤学』・『実用中医薬膳学』・『薬膳の基本』・『改訂新版 薬膳素材辞典』・『問題集』
　参考書：『一語でわかる中医用語辞典』
　※通学コース授業に部分的に参加いただくこともできます。また希望者は直接個別指導も可能です。（要別途費用）

入学までの流れ

1. 同封の**入学願書**に必要事項を記入し、写真を貼付して学院まで郵送にて提出する。
2. 学院からメール（郵送）にて振込先口座と金額をお知らせいたしますので、費用をお振込みください。
3. 入金の確認がとれ次第、ログインのための ID と**パスワード**を発行し、メールまたは郵送でお知らせいたします。

※お手数をおかけしますが、事前にご確認くださいますようお願いいたします。

携帯電話、スマートフォン、iPhone などの設定を【受信拒否設定】にされている方は学院からのメールが受けとれなくなってしまいますので、yakuzen@honzou.jp からのメールを受信できるようドメイン設定を解除していただくか、又は弊学院ドメイン honzou.jp を受信リストに加えていただきますようお願い申し上げます。

ご入学からの学習の流れ

初めて中医学・薬膳学を勉強される方

1 年目

中医薬膳師コース

受講形式：通学・通信教育・オンライン（e ラーニング）

国際薬膳師（士）・国際薬膳調理師受験対策講座

国際薬膳師（士）・国際薬膳調理師資格認定試験

2 年目 以降

本学院・基礎コースを卒業された方
他の学校で中医学・薬膳学を勉強された方

研究科 通学・オンラインコース
- 臨床基礎研究科 **（1, 600 時間以上必須）**
- 臨床内科研究科
- 臨床（婦人科・小児科・外科）研究科
- 方剤研究科

研究科 通信コース（学習時間 2, 000 時間）
- 臨床基礎研究科
- 臨床内科研究科
- 臨床婦人科・臨床小児科・臨床外科研究科
- 方剤研究科

全科目修了者は直接受験出来ます

全科目修了者は直接受験出来ます

国際中医師研究科（通学・オンライン・通信）
- 国際中医師試験に向けての模擬問題の実践と解説
（学習時間 800 時間相当）

国際中医師試験

（本草薬膳学院では、中医薬膳師コース 1,000 時間以上＋研究科 1,600 時間以上）

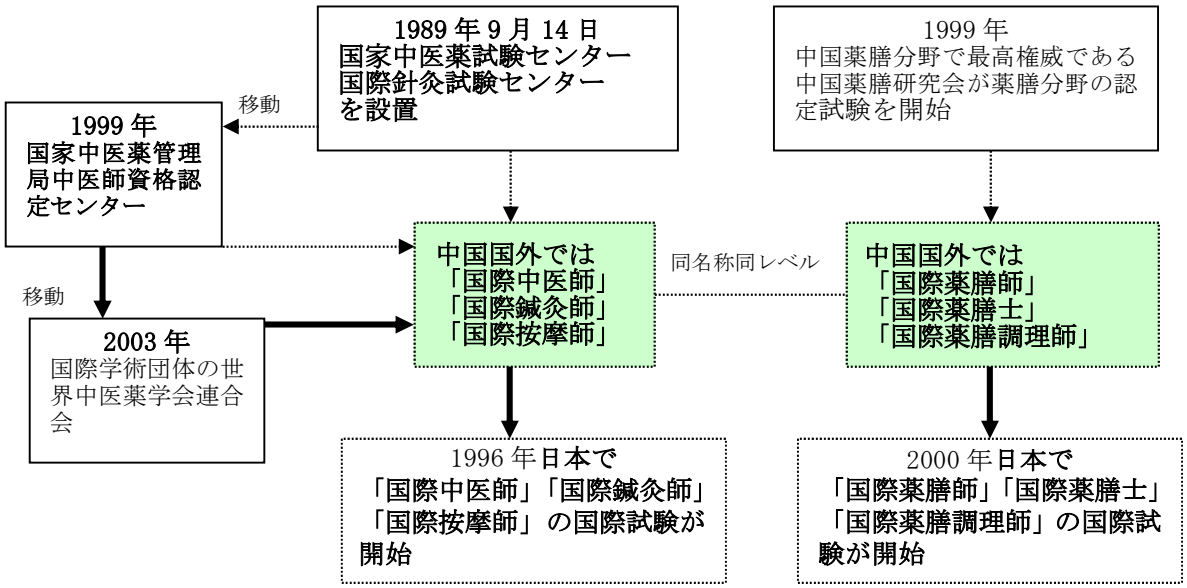
中国が発行する中医学に関する国際資格名称の経緯

1989 年 9 月 14 日、中国の国家中医薬管理局は「国家中医薬試験センター」「国際針灸試験センター」を北京中医学院（現・北京中医薬大学）に設置し、資格を発行することになりました。資格名称については中医学の伝統に従って国内では「中医師」「鍼灸師」、国外では**「国際中医師」「国際鍼灸師」**を用いることになりました。

1999 年に法人化し「国家中医薬管理局中医師資格認定センター」に発行団体の名称を変更しました。その後、国内試験と国際試験を分け、担当する組織の変更もありましたが試験合格者に授与される資格の名称は国内の「中医師」「鍼灸師」と国外の「国際中医師」「国際鍼灸師」を継続して使っています。

また、中医学の国際化につれ、1996 年から日本で「国際中医師」「国際鍼灸師」の試験が始まりました。その後、健康志向で薬膳学はブームになり、学習する方々が増えてきたため、国家中医薬管理局の許可を受け、中国民政部に登録している中国唯一の薬膳分野の最高権威機構である「中国薬膳研究会」の認定試験が始まりました。名称については針灸と同じく中医学から分離できない分野なので、わざわざ中医学と付けなくても常識として中医学に基づく針灸・薬膳と認識されているため、「国際中医師」「国際鍼灸師」に合わせて**「国際薬膳師」**という名称に決定しました。

「国際薬膳師」は 2000 年から日本で最も早く発行された権威のある資格です。その後 2005 年までは、薬膳に関する資格は「国際薬膳師」だけでしたが、他の資格名称が別の団体から発行されるようになり現在に至っています。

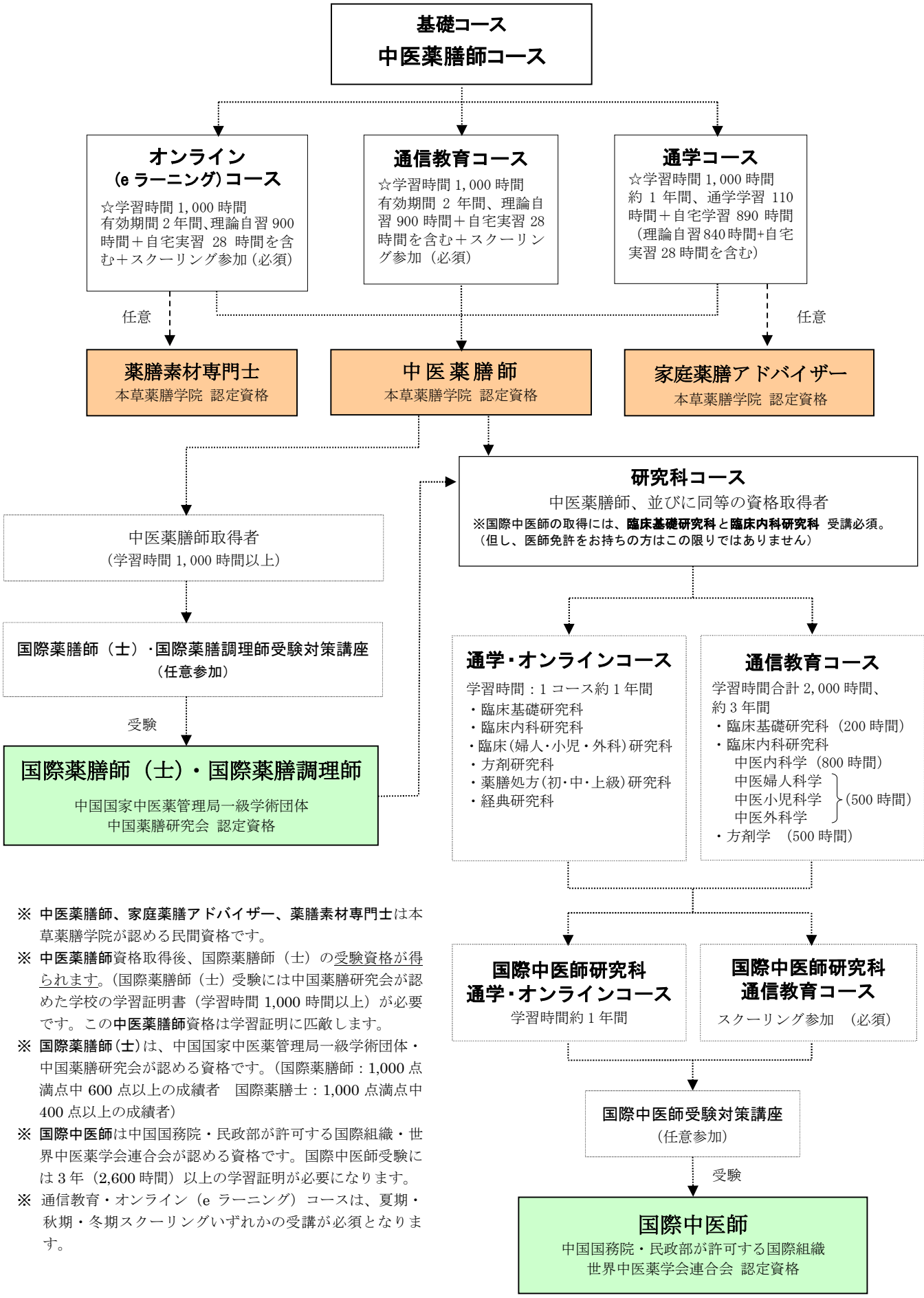


本草薬膳学院

2024.1.1

認定資格制度

【2024 年 1 月現在】



※ **中医薬膳師、家庭薬膳アドバイザー、薬膳素材専門士**は本草薬膳学院が認める民間資格です。

※ **中医薬膳師**資格取得後、国際薬膳師（士）の受験資格が得られます。（国際薬膳師（士）受験には中国薬膳研究会が認めた学校の学習証明書（学習時間 1,000 時間以上）が必要です。この**中医薬膳師**資格は学習証明に匹敵します。

※ **国際薬膳師(士)**は、中国国家中医薬管理局一級学術団体・中国薬膳研究会が認める資格です。(国際薬膳師：1,000 点満点中 600 点以上の成績者　国際薬膳士：1,000 点満点中 400 点以上の成績者)

※ **国際中医師**は中国国務院・民政部が許可する国際組織・世界中医薬学会連合会が認める資格です。国際中医師受験には 3 年（2,600 時間）以上の学習証明が必要になります。

※ 通信教育・オンライン（e ラーニング）コースは、夏期・秋期・冬期スクーリングいずれかの受講が必須となります。

よくあるお問い合わせについて

Q－1:国際薬膳師(士)と国際中医師の違いと、取得するまでにかかる時間はどれくらいですか？

A:国際薬膳師(士)と国際中医師の資格は発行元が違います。

(1)**国際薬膳師(士)**の資格は中国国家中医薬管理局に属する一級学術団体の**中国薬膳研究会**が発行しています。

中国薬膳研究会は中国国務院・科学技術部・国家中医薬管理局の委託により薬膳に関する国の方針、政策を提案し、実行する薬膳分野の最高権威機構です。この会は 2000 年から日本で国際薬膳師(士)の資格認定試験、2002 年から国際薬膳調理師の資格認定試験を実施しています。日本では現在まで数多くの方々が資格を取得されており、その中には医学博士、薬剤師、大学教授、管理栄養士、栄養士、調理師、会社経営者など様々な分野で活躍されている方々がいらっしゃいます。

国際薬膳師(士)を取得するための学習最低時間数は 1,000 時間以上です。そのために本校は中医薬膳師コース(集中講座と自習時間を合わせたコース)を設けています。

試験科目:

中医基礎学、中医診断学、中薬学、方剤学、中医内科学、食材学、中医営養薬膳学、弁証施膳

(2)**国際中医師**の資格は、中国北京に本部を設置している中国政府の外郭団体である**世界中医薬学会連合会**が発行している資格です。

国際中医師を取得するための最低学習時間は①四年制大学卒業の薬剤師・看護師・管理栄養士・栄養士・鍼灸師の資格をお持ちの方は2,500時間、②①の資格で四年制以下の学校を卒業した方ならびに①の資格を有しない方は 3,000 時間、③医師の資格をお持ちの方はお問合せください。

本校は卒業生(国際薬膳師資格取得者)の希望に応じて国際中医師研究科を作りました。学習内容は試験対策として設定しています。時間数も中医薬膳師コースで、すでに中医基礎学などを学習した1,000時間に加え約 2 年間をプラスして 2,600 時間になります。

試験科目:

中医基礎理論学、中医診断学、中薬学、方剤学、中医臨床総合（中医内科学、中医婦人科学、中医小児科学、中医外科学)、弁証論治

Q－2:中医薬膳師と国際薬膳師(士)の違いを教えてください。

A:**中医薬膳師**は本学院が認定・発行している民間資格です。

本学院の「中医薬膳師コース」を修了された方に与えられます。全ての小テストを提出・合格し、卒業試験に合格された方に認定・発行しています。

また、本学院の「通信教育コース」「オンライン(eラーニング)コース」を修了された方にも与えられます。全ての小テスト・章末テストの提出・合格、且つスクーリングに参加された方に認定・発行しています。

国際薬膳師(士)については、Q－1をご参照ください。

本学院で中医薬膳師資格取得後、国際薬膳師試験を受験して取得することが出来ます。

Q－3:国際薬膳師(士)を取得するにはどうすればいいのでしょうか？

A:本学院の「中医薬膳師コース」(通学・通信教育・オンライン(eラーニング))を修了すると、国際薬膳師(士)の受験資格が与えられます。また、他校もしくは他団体において中医薬膳学を学び、1,000 時間以上の学習証明書をお持ちの方も国際薬膳師(士)の試験を受験する事が可能な場合がございますので、お問い合わせください。

Q－4：中医薬膳師の通信教育コース・オンライン(eラーニング)コースを受講したのですが、通学コースに変更することは可能ですか？

A：中医薬膳師通信コース・オンライン(eラーニング)コースでお振込みいただいた受講料と通学コースの受講料の差額+手数料をお支払い頂ければ、コース変更は可能です。ただし、通学コースへの編入時期はそれまで勉強された内容に関わらず、新コース開講時（4月または10月）となります。また、教科書をお持ちでない場合はご購入いただく必要がございます。

Q－5：中医薬膳師通学コースを受講していたのですが、諸事情で通えなくなってしまいました。通信教育コース・オンライン(eラーニング)コースに変更して勉強を続けたいのですが可能ですか？

A：やはり手数料をお支払い頂く事になりますが、通学コースから通信コース・オンライン(eラーニング)コースへの変更も可能です。ただし、両コースの差額を返還する事は出来ませんので、予めご了承ください。

Q－6：通信教育コース・オンライン(eラーニング)コースでは学習内容について質問がある時はどうしたらよいでしょうか？

A：ご質問はメール・FAX・郵便物で随時受け付けております。通学コースの方も、直接講師に質問できる他、メールでのご質問も受け付けております。

Q－7：通信教育コース・オンライン(eラーニング)コースの実力テストはどこで受けるのですか？

A：テストは提出して頂いたレポートにより審査します。スクーリング以外通学する必要はありません。

Q－8：通信教育コース・オンライン(eラーニング)コースを受講していますが、通学コースを部分的に受講することは可能ですか？

A：部分的な受講は可能です。ただし、受講料が別途かかりますので、受講料・日程につきましてはお問合せください。また、食材の準備の関係もございますので、受講される場合は**受講日の1週間前**にご連絡ください。

Q－9：通信教育コースとオンライン(eラーニング)コースの違いを教えてください。

A：通信教育コースは教科書6冊を使用し、比較・参照しながら学習を進め、教材の小テストを解いていただきます。
実際に書くことで難しい中医用語の漢字等もスムーズに覚えることが出来ます。
小テストと卒業レポート（19項目）はすべて郵便でのやり取りとなり、講師が丁寧に添削後、返却いたします。
合格点に満たない場合は再提出となります。

オンライン(eラーニング)コースはeラーニングシステムを使用した学習となり、パソコンやタブレット等があればいつでもどこででも学習可能です**（動画授業形式・電子書籍とは異なります）**。教材は学習のポイントを教科書から抜粋したものを使用し、スライド方式で読み進め、各章ごとにテストを受けていただきます。章末テストと卒業レポート（10項目）の提出はすべてオンライン上で行います。
また、任意で薬膳素材専門士の資格取得が可能です。薬膳に用いる素材の性質・味覚・効能などに精通することを証明する資格であり、オンライン(eラーニング)コース同様に教材を読み進め、章末テストに合格されますと認定・発行をいたします。薬膳素材専門士は中途付加が可能ですので、学びたいタイミングで学院までご連絡いただけましたら、お手続きのご案内を差し上げます。

オンライン教材はコピー・保存・印刷することができない仕様であり、有効期間2年間を過ぎてしまうと画面にログインすることができなくなります。また、スクーリングご参加の際は教科書が必要となりますので、学院では入学時に教科書を購入されることをお勧めいたします。

※ 学院サイトにも「**よくある質問**」がまとめられていますので、ご覧ください。
https://honzou.jp/faq/